

5軒に1軒が空き家といわれる生野区。戦時中、空襲の被害が少なかった生野区は、今でも戦前の家屋が数多く残っている地域です。風変わりな間取りや、増改築の跡、美しい建具等々、一軒一軒異なる個性をもつそれらの物件には、現代の建売住宅にはない魅力があります。「シリーズ・空き家探訪記」では、様々な人と生野の空き家との出会いを取り上げ、それぞれの暮らしと間取りを重ね、理想の住まいを思い描きます。



第7回

大阪市立デザイン教育研究所
1年 豊嶋風香

大阪市立デザイン教育研究所で日々デザインを学ぶ学生さんが、生野にやってきて空き家を探索。そこには人々の暮らしや流れていた時間を感じる空間が。どこか懐かしさを感じるノスタルジックな空間で「ゆったり、まったりできる。」そんな素敵な妄想を、デザインを学ぶみなさんが自由な発想と想像力で描いてくれます。さあ、皆さんの頭の中にはどんな妄想が広がっているのでしょうか。

ここがイチオシ!

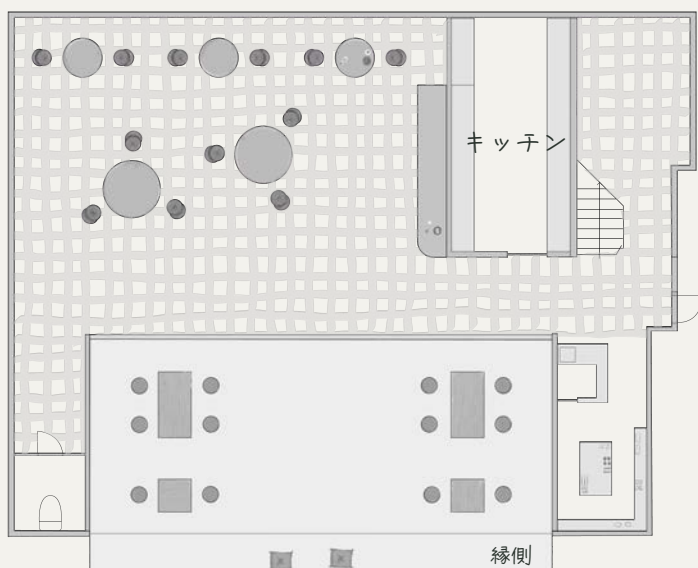
物件

- ・レトロな匂いが漂う雰囲気
- ・光が入るのでのびのびできる
- ・コリアタウンまで徒歩5分
- ・近くに駐車場あり

ノスタルジックなひろびろかわエ

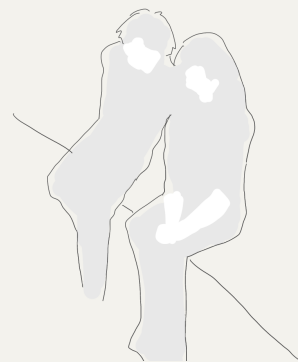
元のレトロな雰囲気を生かしつつ、
可愛らしく落ち着いた内装に

1F



縁側を作って開放感を

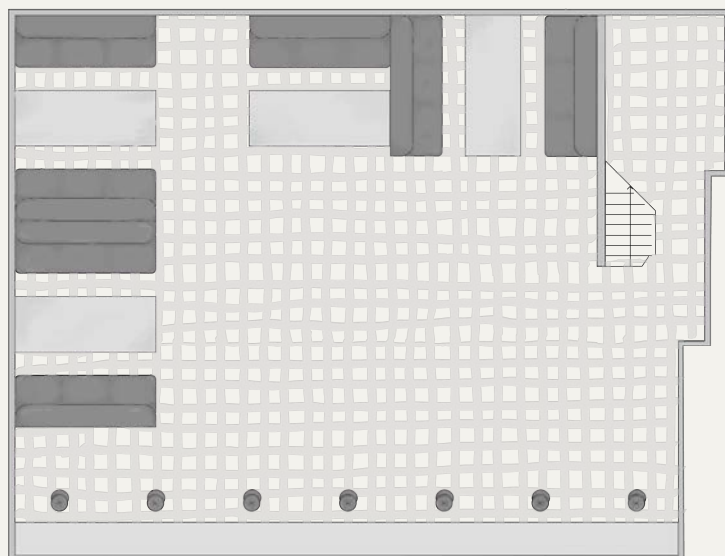
座敷スペースでティータイム



床をタイルにしてノスタルジックに

広々とした空間を使って
ゆったりくつろげる

2F



外を眺められる